

## 夏を満喫 全力キャンプ！（ボランティア自主企画事業）

### 1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

グループ活動を通して子供たちの協調性や仲間意識を高め、楽しく野外活動に取り組む姿勢を育む。

○ 実施期間

ボランティア：令和元年8月13日（火）～令和元年8月19日（月）6泊7日

小学生参加者：令和元年8月16日（金）～令和元年8月18日（日）2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員／応募者）

○ ボランティア（18名／—）名

小学4～6年生（19名／20名／39名） 日程短縮によりキャンセル1名

○ 活動プログラム

	午前	午後	夜
8/13（火） <前泊1日目>		12:00 自然の家 着(ボラ) 事前準備	事前準備
8/14（水） <前泊2日目>	事前準備	事前準備	事前準備
	9:00 送迎バス 発	開講式 テント設営 チームビルディング	野外炊事 班会 テント泊
8/15（木）< 前泊3日目>	事前準備	事前準備	事前準備
	野外炊事 基地づくり	基地づくり 野外炊事	班会 基地泊
8/16（金） <1日目>	事前準備 9:00 送迎バス 発(小学生)	12:00 開講式 アイスブレイク テント設営 野外炊事	班会 花火 テント泊
	オリエンテーリング 野外炊事	食材買出し 創作野外炊事	
8/17（土） <2日目>	海水浴 (東洋町白浜海水浴場)		野外炊事 キャンプファイア テント泊
8/18（日） <3日目>	テント撤収 ふりかえり	12:45 閉講式 送迎バス 発(小学生)	ミーティング
8/19（月） <後泊>	活動反省会	13:30 自然の家 発(ボラ)	

○ 備考

台風10号のため、小学生参加者8/14（水）～8/18（日）4泊5日を8/16（金）～8/18（日）2泊3日に日程短縮して実施した。短縮前の日程は網掛け内に記述。

## 2. 活動の様子

### <前泊>



ボランティアは予定通り8月13日に集合したが、台風10号接近のため、小学生対象のキャンプは日程を短縮して実施することになった。開催までの3日間は新しい日程での活動プログラムや活動細案の作成とチェックを行った。

### <1日目>

19名の小学生を迎え、開講式を行った。今回のキャンプでは最終日の昼食以外は全て野外炊事にて食事を賄う計画である。日程短縮に伴い食事内容も変更となったが、事前に準備した食材を無駄にすることが無いように工夫を凝らした。最初の食事は夏を感じる「そうめん」でお腹を満たした。専属の食事スタッフを置き、栄養面にも十分に配慮されたメニューが期間中提供された。

アイスブレイクを行って緊張をほぐしつつ、これから一緒に過ごす仲間との絆を確かめたのち、翌日の海水浴で使用するライフジャケットのフィッティングを行った。また、海の活動における諸注意も併せて実施した。子供たちは一番楽しみにしている海水浴を控え、目を輝かせながら次々と準備を進めていった。

3日間を過ごすテントを協力して設営したのち、夕食の準備を行った。夕食は餃子パーティ。自分たちでくるんだ餃子を次々と焼いていった。大皿に山盛りになるほど作った餃子もみるみる胃袋の中に納まっていった。子供からは「自分で作った餃子の味はおいしい」「はじめてつくったけど難しくなかった」との声が上がっていた。夕食後は花火を楽しんだのち、就寝した。



### < 2日目 >

台風一過の晴天の下、東洋町白浜海水浴場での活動を行った。普段は穏やかな波が寄せる海岸も台風後の大きなうねりが入り込み、打ち寄せる大きな波を楽しむことができた。安全管理体制も昨年度同様に整えられ、安心して活動できるシステムが確立された。昼食は附属するキャンプ場にてカートンドックを調理した。一日丸々、波と戯れながら夏の日差しを満喫する活動となった。



パエリアとホイル焼きの夕食でお腹を膨らませた後は、キャンプファイアを行った。分火した炎は各班の焚火台にうつされ、たき火を囲んで楽しい語らいのひと時となった。

### < 3日目 >



早朝からテントサイトの撤収と後片付けを行った。作業の合間の朝食はサンドウィッチとして、子供たちの食欲は最後まで落ちることがなかった。キャンプの振り返りとして、思い出を絵日記にまとめた。テントでの宿泊、海水浴、野外炊事のメニュー、キャンプファイアなど、子供たちは思い思いの題材で画用紙を彩っていた。

### < 後泊 >

子供たちが帰った後、事業の振り返りを行った。各活動セッションごとに課題と反省点をまとめ、先輩リーダーや職員からアドバイスを受けた。次年度の夏の自主企画を円滑に進めることができるように、問題点の洗い出しと引継ぎ資料の整理を行った。

### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・台風のせいで3日になったけど海水浴があったのが良かった。(子供)
- ・思ったより全力が多くて楽しかった。(子供)
- ・友達と協力するところが多かったから良かった。(子供)
- ・先輩リーダーの動きを身近で見られたのは本当に大きく学ぶことが多かった。(ボランティア)
- ・リーダーとして、大きなステップアップができた。(ボランティア)
- ・リーダーとして参加して、子供との接し方について学ぶことができた夏の思い出をつくる手伝いが出来て幸せでした。(ボランティア)

#### ○ 事業の成果

- ・ボランティア自主企画で子供を対象とした4泊5日の事業を実施している例は他施設にもなく、室戸のボランティア養成における特色の一つとしてあげられる。今年度が2回目の実施となるが、この取り組みが定着するように、次年度以降も法人ボランティアへの適切な支援を進めていきたい。
- ・台風による日程短縮や事業実施中のAD職ボランティアリーダーの途中リタイヤなど種々の突発事項にも拘らず、前年の経験を活かして円滑に事業を進めることができた。今回の試みとして、専属の食事スタッフを置き、最終日の昼食以外のすべての献立作成と料理指導をこのチームが主導した。大学で管理栄養士課程を専攻している学生が中心となったこともあり、キャンプの楽しみである日々の食事が大変充実したものとなった。

#### ○ 事業の課題

- ・開催時期の8月はよさこい祭りや県内公立施設の主催行事などイベントが続き、参加するボランティアリーダーの確保に支障がある。できるだけベストの日程設定を行うことで、多くのボランティアリーダーが参加できるように留意したい。
- ・前年度12月のボランティア自主企画を経験したボランティアリーダーが引き続き本事業に参加するが、準備期間のタイムスパンや企画内容の密度など、冬の自主企画事業とは異なるペース・内容で準備段階から進行するため、前回の成功体験や経験則が活かせない例が多く発生する。冬の自主企画事業との差異を十分に明示することで、ボランティアリーダーが最大限の能力を発揮できるよう、職員側の助言・指導・支援をさらに充実させていきたい。
- ・台風を含め、悪天候時の代替案を充実させる十分な計画がたてられるようにボランティアリーダーに対して事前段階からの指導助言をさらに進める必要がある。本年度は小学生が対象となる日程のみが短縮となったため、比較的スムーズに代替案への振り替えを行うことができた。円滑な事業実施のために事前の段階で、入念な準備を進めていく必要がある。